TOTO

洗面化粧台・台輪・化粧鏡
ウォールキャビネット施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
この施工説明書と水栓ユニットに同梱されている説明書を合わせてご確認ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味
⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

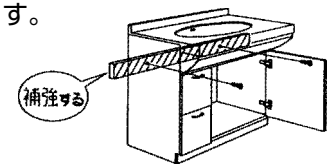
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強してください

キャビネットが転倒してケガをするおそれがあります。

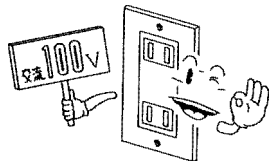


電気配線工事・給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・業者」が行ってください

火災や感電および漏水の原因になります。

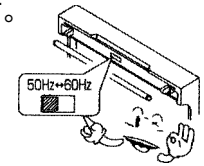
電源は交流100Vを使用してください

交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。



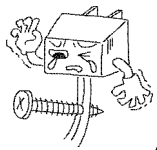
使用地域の周波数に合わせてください

60Hz用器具を50Hz地区で使用すると過電流による火災の原因になります。



電気コードを傷付けないでください

電気コードを傷付けると火災のおそれがあります。
特に壁固定の際は気を付けてください。



⚠ 警告

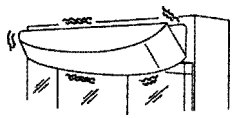
浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください

漏電により感電するおそれがあります。

⚠ 注意

照明カバーは確実に取り付けてください

落下してけがのおそれがあります。



工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください

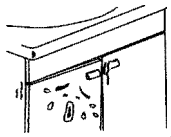
漏水を起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。

洗面器の上に乗らないでください

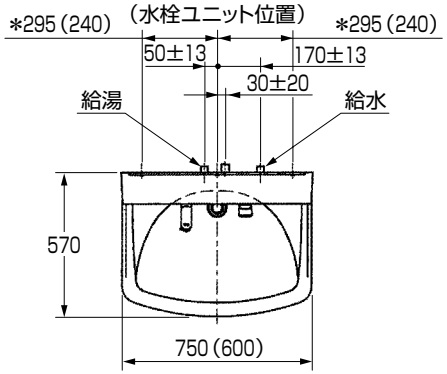
故障および転落・転倒してけがの原因になります。

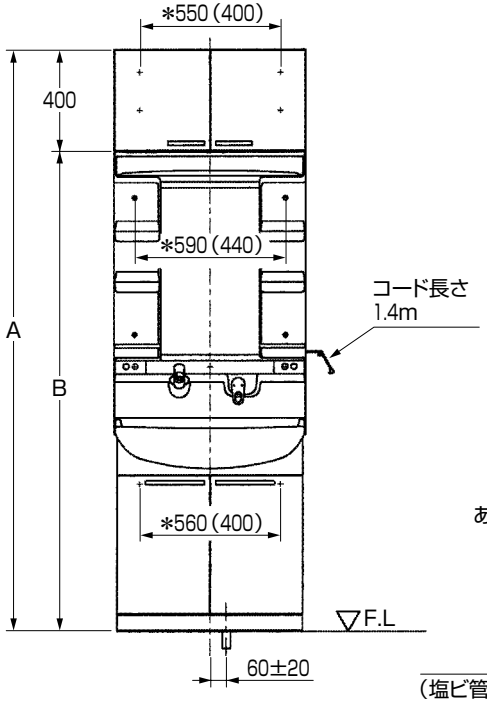
工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください

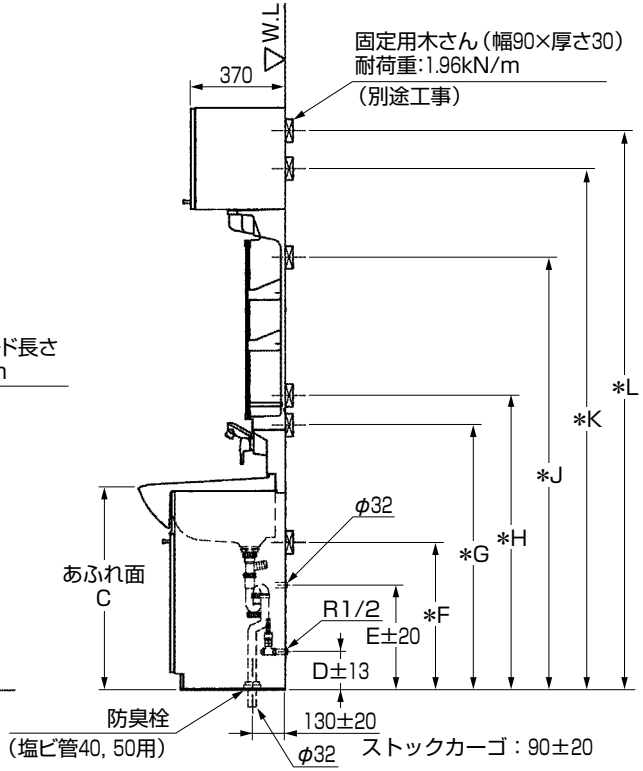
使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。



☆工事寸法



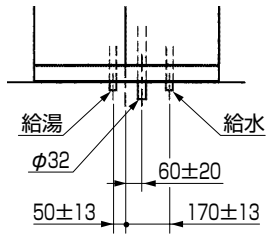


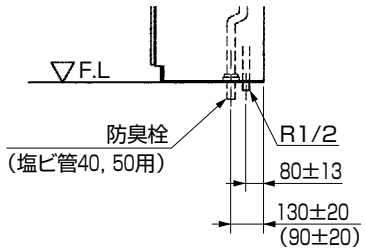


- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図はLDSZ750BS＋LMZ750H＋LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- ＊印は木ねじ位置を示します。
- （ ）寸法は600サイズを示します。
- LDSZ600・750・751AタイプおよびLDSZ600・750・751・753Bタイプは、(洗面化粧台+水栓ユニット)になります。
  LDSZ600・750・751・753Cタイプは、(洗面化粧台+水栓ユニット+台輪)になります。
- あふれ面高さ900対応の場合は、あふれ面高さ800の化粧台と台輪をご購入ください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、L061をご購入ください。
- 床給水ユニット(別売品)はあふれ面高さを確認してからご購入ください。
  ※あふれ面高さ750はL063、あふれ面高さ800・850はL065、あふれ面高さ900はL0101をご購入ください。
- 配管王をご使用の場合は、L066をご購入ください。(洗面化粧台に同梱の止水栓をご使用ください。)
- 配管王とは、TOTOの樹脂配管システムです。

床給水・配管王の場合

（ ）寸法はストックカーゴの場合を示します。



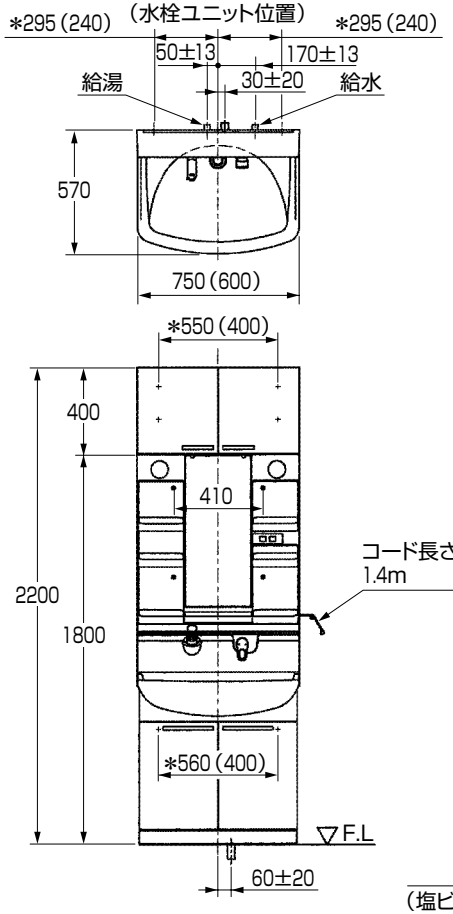


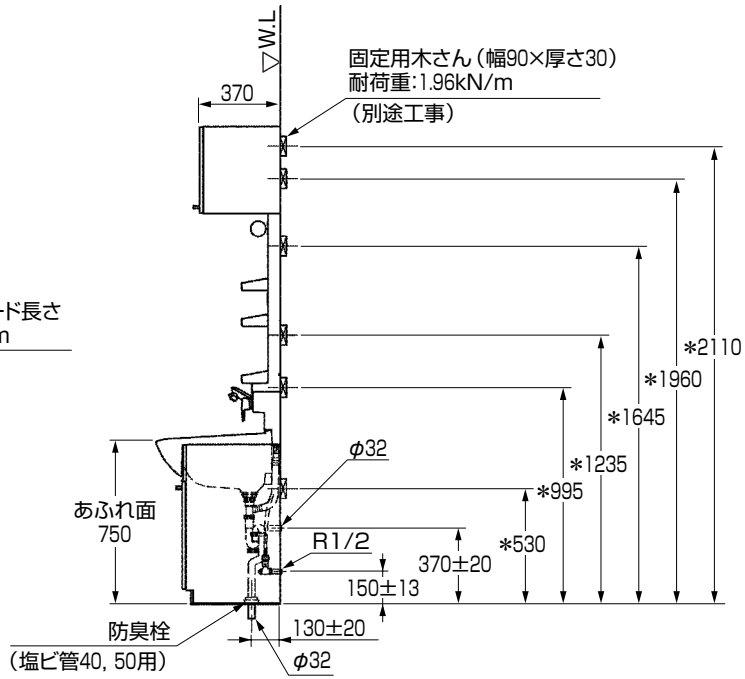
製品品番	外観寸法			給排水位置		壁固定位置					
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
LDSZ600A・750A・751A	2250	1850	750	150	370	530	995	1125	1665	2010	2160
LDSZ600B・750B・751B・753B	2300	1900	800	200	420	580	1045	1175	1715	2060	2210
LDSZ600C・750C・751C・753C	2350	1950	850	250	470	630	1095	1225	1765	2110	2260
あふれ面高さ900の場合	2400	2000	900	300	520	680	1145	1275	1815	2160	2310

LDSZ600・750・751・753, LMZ600・601・604・750・752・753・754
LWZ600・750, LFZ600・750

☆工事寸法(H=1800対応)

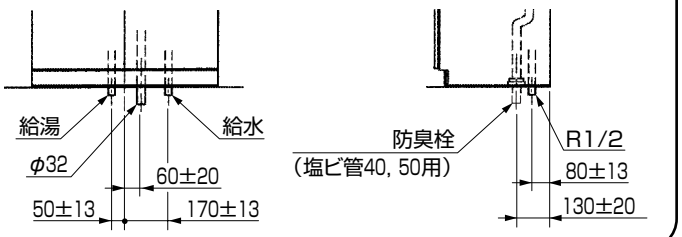
- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 図はLDSZ750AS+LMZ754H+LWZ750タイプです。その他の機種は外観形状が若干異なります。
- ＊印は木ねじ位置を示します。
- （　）寸法は600サイズを示します。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、LO61をご購入ください。





- 床給水ユニット(別売品)はLO63をご購入ください。
- 配管王をご使用の場合は、LO66をご購入ください。
（洗面化粧台に同梱の止水栓をご使用ください。）

床給水・配管王の場合



☆付属部品明細

洗面化粧台

名　　称	数　量
止水栓	2個
排水トラップ	1セット
給水ふた	2個
排水ふた	1個
防臭栓	1個
壁固定用木ねじ（φ4.5×50）	2本
ふた用木ねじ（φ3×12）	7本
取扱説明書	1冊

化粧鏡

名　　称	数　量
歯ブラシ立て	1個
壁固定用木ねじ（φ4.5×50）	4本
化粧キャップ	4個
ボールランプ(LMZ604・754タイプ)	2個

ウォールキャビネット

名　　称	数　量
壁固定用木ねじ（φ4.5×50）	4本

台輪（同梱部品）

名　　称	数　量
連結用木ねじ（φ4.5×35）	2本
化粧キャップ	2個
アングル用木ねじ（φ4.5×10）	12個
アングル	6個
右側板	1個
左側板	1個
横さん	1個
横さん	1個
蹴込板	1個

※ストックカーゴタイプには連結用木ねじおよび化粧キャップは同梱されません。

※水栓ユニットの付属部品は、水栓ユニットに同梱の施工説明書をご参照ください。

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。
- コンセントは安全確保のため、化粧鏡の裏面には設置しないでください。

☆使用条件

- 水栓金具の使用条件は水栓ユニットに同梱の施工説明書をご参照ください。

☆引き出しの外し方と入れ方（ストックカーゴタイプ）

- 洗面化粧台に張り付けてあるラベルを参照してください。

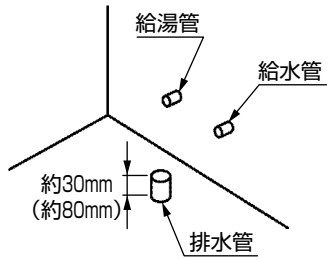
☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。

※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には壁面に固定用木さんを入れてください。
（壁面に固定用木さんを入れられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格品の板を強固に取り付けてください。）

- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台に給水、給湯穴（φ52×2）、排水穴（φ90）を穴あけしてください。

※オプションで電気温水器を取り付ける場合は、給湯用の穴あけは不要です。また、排水穴の穴あけ要領については、電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。



- 排水管を所定の位置に仕上げ面より30mm立上げてください。あふれ面高さ900の場合は、排水管の立ち上げ代は仕上げ面より約80mm立上げてください。
（排水管はVU40、VU50または、VP40、VP50をご使用ください。）

※オプションで電気温水器を取り付ける場合は、あふれ面高さを確認後下記寸法で排水管を立上げてください。

あふれ面高さ	立上げ高さ
750	30
800	30
850	80
900	130

裏面に続く

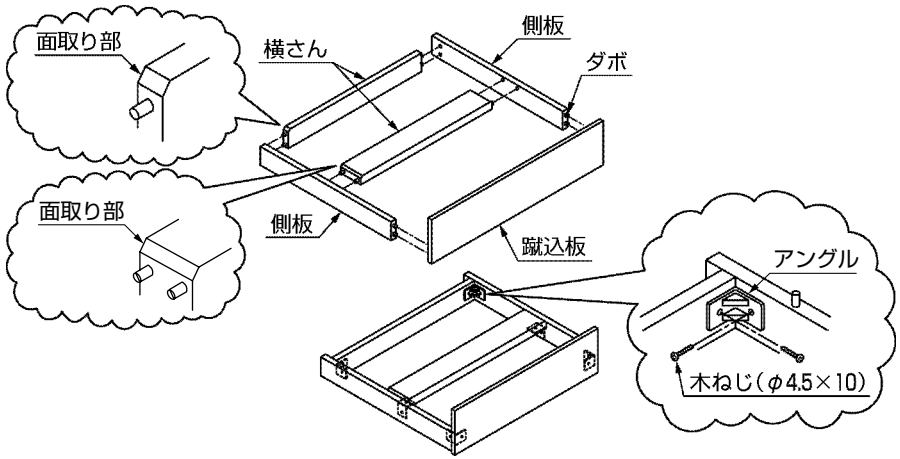
☆取付手順（番号順に取り付けてください。）

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

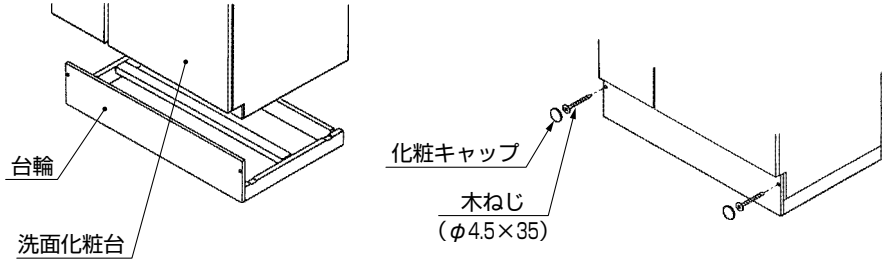
①洗面化粧台の取り付け

台輪をセットする場合

- ダボとダボ穴を合わせて、仮り組みしてください。
（当て木をしてハンマーでたたいて連結してください。）
- 6箇所にアングルを木ねじ（2本）で固定してください。

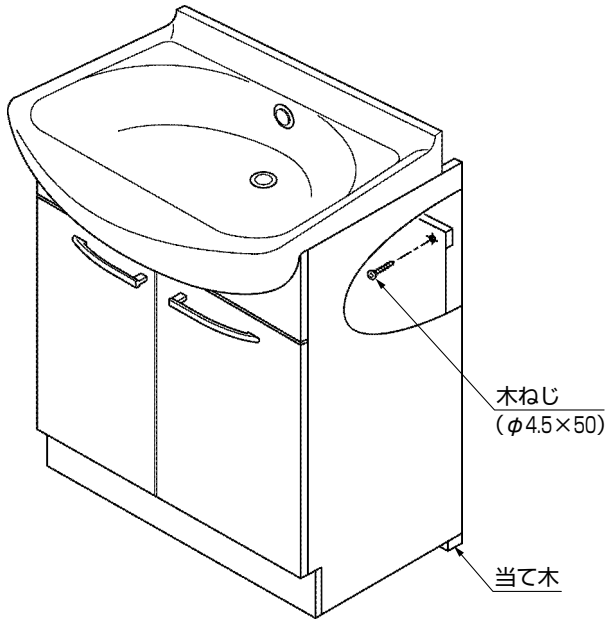


- 台輪の上に洗面化粧台を乗せて、木ねじ（2本・台輪に同梱）で固定し化粧キャップを取り付けてください。
※ストックカーゴタイプはねじ固定はありません。



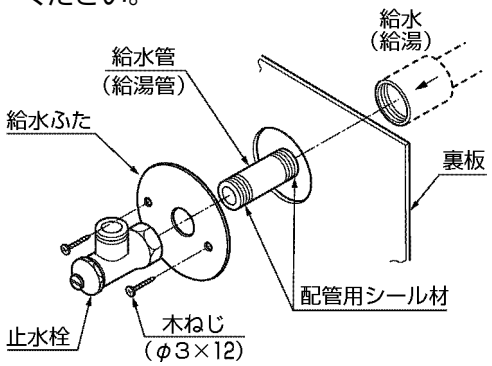
- 付属の木ねじ（2本）で壁に確実に固定してください。

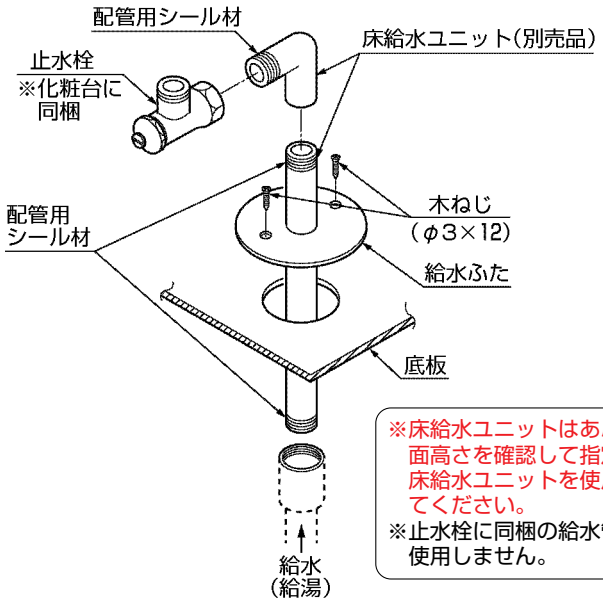
※床が水平でない場合には、扉に段付きができ傾くおそれがありますので、丁番を調整して段付きをなくしてください。
（調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。）
それでも良くならない場合は、当て木をして、水平になるように調整してください。



②止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 配管王対応はLO66に同梱の施工説明書を参照してください。





※床給水ユニットはあふれ面高さを確認して指定の床給水ユニットを使用してください。
※止水栓に同梱の給水管は使用しません。

③水栓ユニットの取り付けおよび給水・給湯ホースの接続

- 水栓ユニットに同梱の施工説明書をご参照ください。

④排水トラップの取り付け

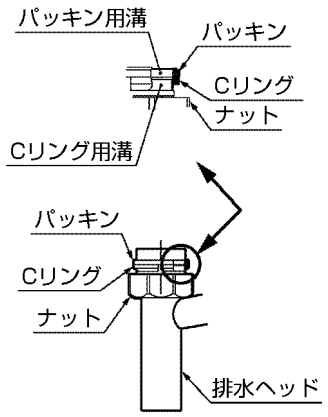
- ナットは手で確実に締め付けてください。
(工具は使用しないでください。)
- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管とトラップの別売のアダプタ(右表)で確実に接合してください。

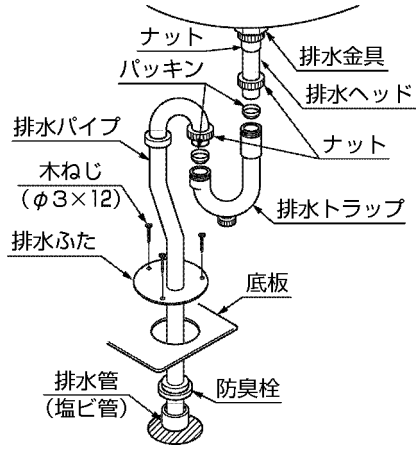
集合・高層住宅の場合

アダプタの種類	サイズ
T1122　(鋼管用)	R1¼
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48　(塩ビ管用)	40用
LO49　(塩ビ管用)	50用

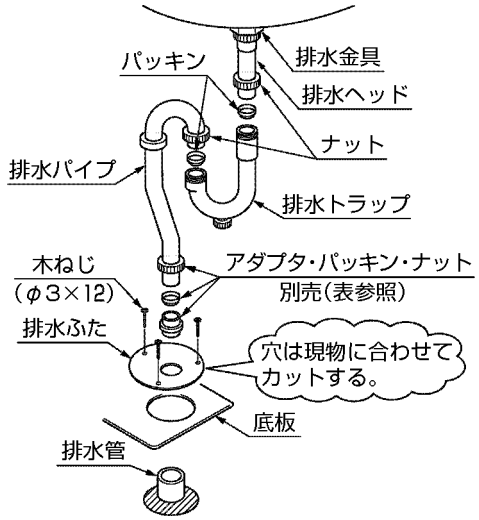
〈排水ヘッドを外した場合〉

※パッキンおよびCリングが専用の溝に正しくセットされているか確認してください。

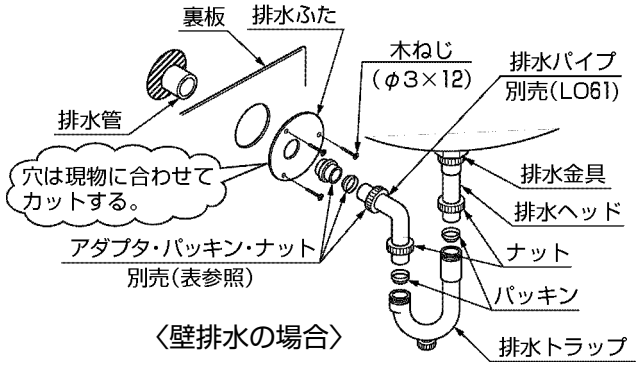




〈床排水の場合〉

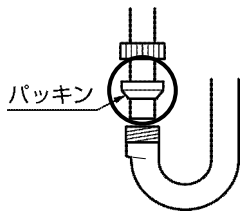


〈集合・高層住宅の場合〉



〈壁排水の場合〉

※パッキンの方向に注意してください。



⑤化粧鏡の取り付け

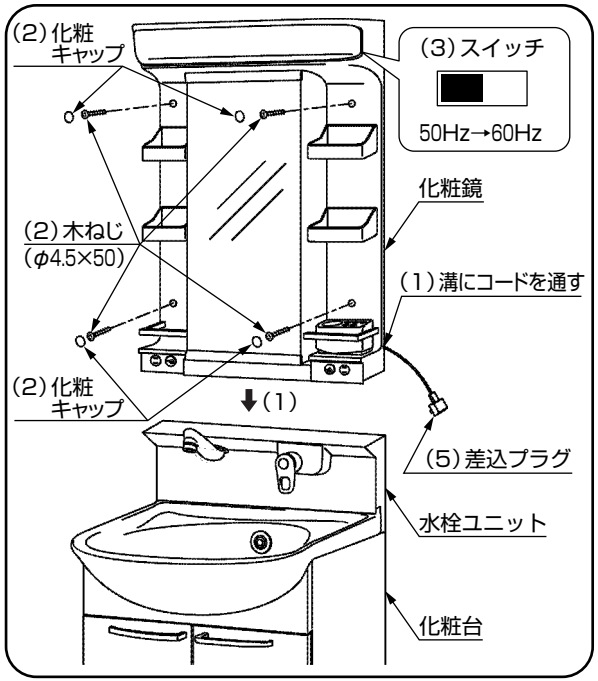
（1）化粧鏡を水栓ユニットの上に乗せて左右の位置合わせをしてください。
その際、電源コードを本体側面の溝から外に出しておいてください。

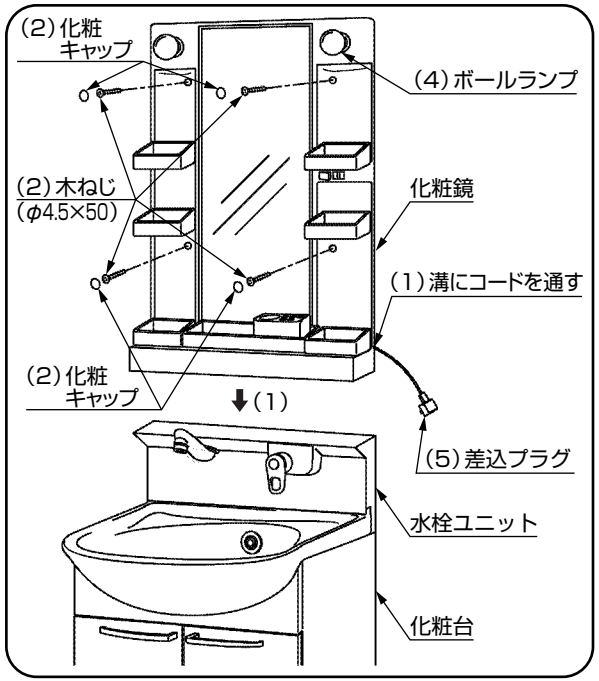
（2）化粧鏡を付属の木ねじ（4本）で所定の位置に確実に固定した後、キャップを取り付けてください。
※取付壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがむことがありますのでゆがまないよう、木ねじのねじ込代を調節しながらねじ込んでください。
壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面に当て木をしてください。
※壁固定は所定の固定穴を使用してください。
電源コードとねじが接触しないよう、またコードをはさまないように施工してください。

（3）蛍光灯本体の周波数は50Hzにセットされていますので、60Hz地域でのご使用の場合はスイッチを60Hzに切り替えてください。（切り替えはスイッチをスライドさせてください。）
※カバーの外しかたは、カバーに張り付けのラベルを参照してください。

（4）付属のボールランプを取り付けてください。（LMZ604・754タイプ）

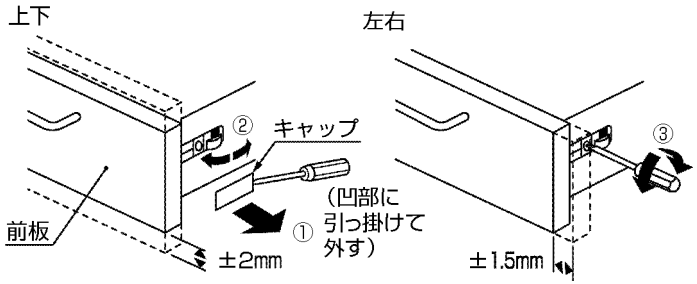
（5）差込プラグをコンセントに接続してください。その際コードを束ねたまま接続しないでください。
※プラグ差込方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒ラインが入っている側をコンセントのアース側（長穴側）に接続してください。

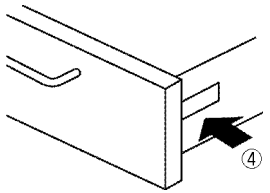




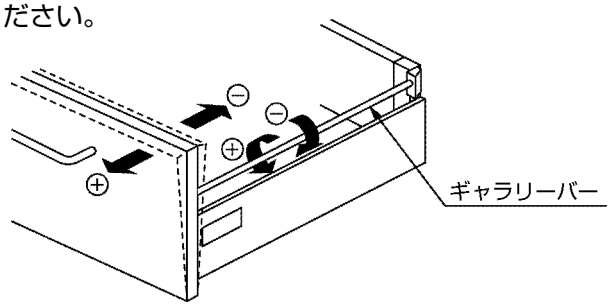
⑥引き出しの取り付けおよび前板の調整（ストックカーゴタイプ）

- 引き出しを取り付けた後、前板の左右上下の位置が合っているか確認してください。
合っていない場合は、下記要領にて調整を行ってください。
- 引き出しの上下左右調整
①引き出し側面のキャップを外して、調整してください。
②上下は両端のダイヤルで±2㎜調整できます。
③左右は引出し右側の⊕ねじで±1.5㎜調整できます。
④前板の調整が終わったら必ずキャップを戻してください。





- 引き出しの角度調整
前板の角度調整はギャラリーバーを回転させて調整してください。

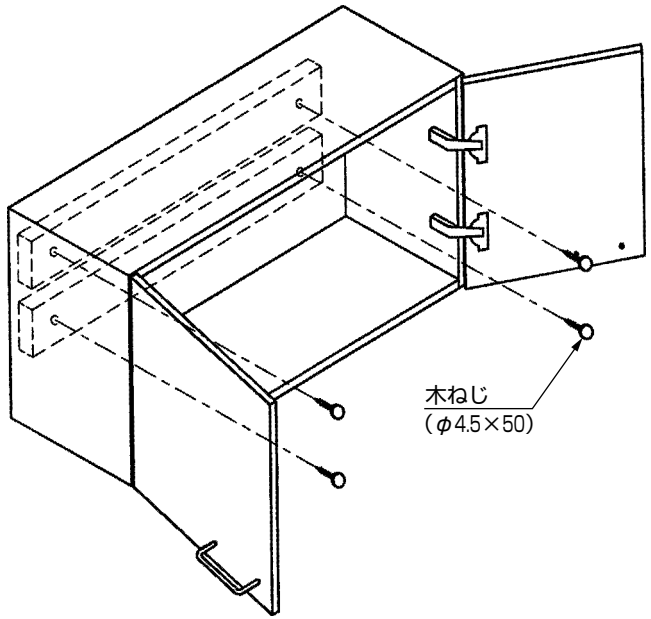


☆ウォールキャビネットの取り付け

①壁固定

- ウォールキャビネットは、化粧鏡の上に乗せて、水平・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ（4本）で壁に確実に固定してください。

※壁ゆがんでいるとキャビネット本体が、ゆがんで取り付きますので当て木を入れて、垂直に固定してください。



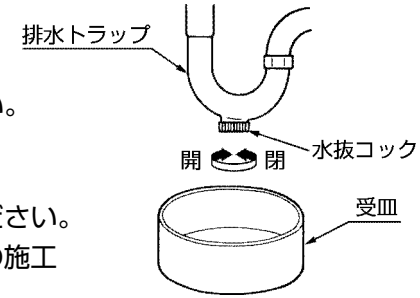
☆温度調節（サーモ水栓の場合）

- 水栓ユニットに同梱の施工説明書を参照してください。

☆寒冷地タイプの水抜き

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをしてください。
また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。



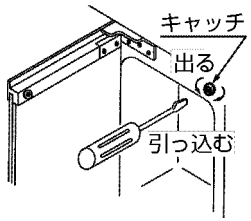
〈水栓金具の水抜き〉
水栓ユニットに同梱の施工説明書を参照してください。

〈排水トラップの水抜き〉
排水トラップの水抜きコック開く。
※水抜き後は、必ず水抜きコックを確実に締めてください。

- 電気温水器をセットした場合は、電気温水器に同梱の施工説明書をご参照ください。

☆取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 化粧鏡の扉および袖鏡が確実に閉まるか確認してください。閉まらない場合は、右図のようにキャッチの高さを調整してください。



- 扉の傾き・ガタツキなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 照明スイッチを押して蛍光ランプが点灯することを確認してください。
- くもり止めヒータースイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。
- コンセントに電気カミソリなどを差し込み、通電するか確認してください。
- 設置後、長期間使用されない場合は差込プラグを抜いてください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
  シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。